

国立大学図書館協会新理事会
議事要旨

日 時：平成 23 年 5 月 13 日（金） 14：00～17：00

場 所：東京大学附属図書館大会議室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

田中事務局長（東京大学・事務部長）から、文部科学省研究振興局情報課の丸山学術基盤整備室室長補佐、首東大学図書館係主任、国立情報学研究所学術基盤推進部の青木次長、鈴木学術コンテンツ課長、尾城図書館連携・協力室長にご出席いただく旨、紹介があった。

2. 会長挨拶

古田会長（東京大学・館長）から開会の挨拶があった。また、東日本大震災に関して、各会員館の支援に対する東北大学からの礼状が紹介され、東北大学・野家館長から謝辞及び現状報告があった。引き続き、出席者が自己紹介を行った。

3. 前々回及び前回議事要旨の確認

古田会長から、秋季理事会（H22.11.10・京都大学）及び臨時理事会（H23.3.11・東京大学）の議事要旨（案）について、既に事前に理事館に送付しご意見を伺っており、朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの説明があった。

4. 報告事項

(1)各委員会報告

1) 総務委員会

九州大学・川本館長（総務委員会委員長）から配付資料（No.1）に基づき平成 24 年度以降の総会等の在り方、平成 23 年度以降の地区助成事業の実施について等の報告があった。また同委員会からの提案事項については後ほど協議をお願いしたい、との説明があった。

2) 国立大学図書館協会賞受賞者選考結果報告

北海道大学・藏野事務部長（協会賞専門委員会委員長）から、配付資料（No.2、3）に基づき、平成 23 年度の応募 3 件について、協会賞専門委員会で審議を行った結果、信州大学附属図書館 SOAR 開発チームの活動を協会賞に推薦することとして総務委員会に報告し、総務委員会において了承された旨報告があった。

3) 人材委員会

京都大学・梶谷事務部長（人材委員会委員）から、配付資料（No.4-1）に基づき、委

委員会の活動内容について報告があった。また、配付資料（No.4-2）に基づき、平成 22 年度の海外派遣事業についての報告及び平成 23 年度派遣者の審査結果について報告があった。

4) 学術情報委員会

名古屋大学・松浦館長（学術情報委員会委員長）から、配付資料（No.5）に基づき、委員会の活動内容について報告があった。機関リポジトリに関して、国立情報学研究所に要望書を提出し、これに対して回答（当日配付資料）があったこと及び、広報用の資料（当日配付資料）を作成し、国内学会に頒布したことについて報告があった。また、学術情報システム検討小委員会では中間報告（当日配付資料）を取りまとめた旨説明があった。

5) 学術情報流通改革検討特別委員会

東京大学・高橋情報管理課長（学術情報流通改革検討特別委員会事務局）から配付資料（No.6）に基づき、コンソーシアム連携の推進、出版社協議と新たな契約モデルの開発、バックファイルの戦略的・体系的整備の検討等の活動内容について報告があった。また、委員会の平成 23 年度以降の活動に関して、後ほど設置要項の改正について協議をお願いしたい、との説明があった。

(2) 各地区協会報告

配付資料（No.7）にあることのほか、各地区からの追加報告はなかった。

(3) 地区協会助成事業報告

配付資料（No.8）にあることのほか、各地区からの追加報告はなかった。

(4) 国公立大学図書館協力委員会報告

筑波大学・上原情報管理課長（国公立大学図書館協力委員会常任幹事館）から、配付資料（No.9-1）に基づき、国公立大学図書館協力委員会の活動内容について報告があった。また、配付資料（No.9-2～3）に基づき、CERN を中心とする高エネルギー分野での活動である SCOAP3 への対応状況及び現在検討中の Expression of Interest(EoI) 素案について説明があった。

(5) 日本図書館協会関連報告

千葉大学・島学術情報課長（平成 22 年度日本図書館協会大学図書館部会委員）から、配付資料（No.10）に基づき、日本図書館協会大学図書館部会の活動報告があった。

(6) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告

筑波大学・関川副館長（大学図書館コンソーシアム連合運営委員会委員長）から、配付資料（No.11-1～2、追加資料）に基づき、平成 23 年度の活動計画等について報告が

あった。

(7) その他

事務局（東京大学・木村総務課長）から、報告資料は協会ホームページ上に掲載し、総会資料（冊子）には掲載しない旨、説明があった。

5. 協議事項

(1) 会長及び副会長選出

田中事務局長の議事進行により投票が行われ、以下のとおり会長・副会長が選出された。

会 長： 古田元夫 東京大学附属図書館長

副会長： 林 信夫 京都大学附属図書館長

引き続き、古田会長から、平成 23 年度の監事館について、以下のとおり紹介があった。

東ブロック： 関東甲信越地区 横浜国立大学

西ブロック： 中国四国地区 岡山大学

(2) 理事館の担当について

理事館の担当を決定するのに先立ち、事務局から、原則として各地区の 2 理事館は同じ事項を担当するが、一部希望によりそれぞれ別の事項を担当できる旨説明があった。

各理事館の意向に基づき、以下のとおり担当が決定された。

・総務担当： 東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学

・人材育成担当： 東北大学、福島大学、大阪大学、広島大学、高知大学

・国際担当： 一橋大学

・学術情報担当： 北海道大学、北見工業大学、筑波大学、千葉大学、名古屋大学、岐阜大学

(3) 委員会等について

1) 「委員会の設置について（申し合わせ）」改正について

九州大学・川本館長から、配付資料（No.13）に基づき、申し合わせの実施期間を平成 25 年新理事会まで延長する改正案について説明があり、審議の結果了承された。

2) 学術情報流通改革検討特別委員会について（設置要項改正）

九州大学・川本館長から、配付資料（No.14）に基づき、目的、事業内容、設置期間について改正する旨説明があり、審議の結果了承され、総会の協議に付すこととなった。

3) 大学図書館コンソーシアム連合運営委員会委員の派遣について

事務局から、配付資料（No.15）に基づき、申し合わせ（案）について説明があり、審議の結果了承された。これを受けて、配付資料のとおり派遣委員を指名することについて報告があった。

(4) 国立大学図書館協会シンポジウムについて

京都大学・栃谷事務部長（平成 22 年度学術情報委員会委員）から、当日配付資料に基づき、電子ブックと大学図書館をテーマとするシンポジウム案について提案があり、審議の結果了承され、総会の協議に付すこととなった。

(5) 平成 22 年度決算（案）について

事務局から、配付資料（No.16、17）に基づき、平成 22 年度の協会、記念基金の決算案の報告があった。続いて監事館の弘前大学・長谷川館長から、平成 22 年度の会計監査の結果について、経理内容は適正であった旨の報告があり、決算案が了承され総会の協議に付すこととなった。

(6) 平成 23 年度事業計画（案）について

事務局から、配付資料（No.18、19）に基づき説明があり、審議の結果了承され、総会の協議に付すこととなった。

(7) 平成 23 年度予算（案）について

事務局から、配付資料（No.20、21）に基づき予算案について説明があり、審議の結果了承され、総会の協議に付すこととなった。

(8) 関係団体への派遣役員について

事務局から、配付資料（No.22）に基づき説明があり、案のとおり了承された。

(9) 第 58 回総会について

1) 日程について

事務局から、配付資料（No.23）に基づき説明があった。この日程案に対して、全体会議の場で国立情報学研究所の事業説明及び、大学図書館コンソーシアム連合に関する報告の時間を設けてはどうかとの意見があり、審議の結果この 2 件を追加することとして了承された。

2) 総会の議長団について

古田会長から、議長を東北大学・野家館長、副議長を愛媛大学・小淵館長にお願いしたいとの提案があり、了承された。

3) ワークショップのテーマ・企画担当について

田中事務局長から、配付資料（No.24）に基づき、各地区協会から提出されたワークショップテーマをとりまとめた結果について、説明があった。審議の結果、下記の 2 テーマとすることとし、併せて担当地区について下記の通り了承された。また、企画にあたっては、中小規模大学の運営にも資する形となるよう配慮することが確認された。

①電子ジャーナル・電子ブック等の整備の在り方と大学図書館コンソーシアム連合
(JUSTICE)

関東甲信越地区、東京地区

②災害時における図書館における危機管理

東海北陸地区、近畿地区

4) オブザーバについて

事務局から総会オブザーバについて以下のとおり報告・提案があり、それぞれの出席が了承された。

- ・高エネルギー加速器研究機構、国立歴史民俗博物館、国立女性教育会館、国立天文台、国立極地研究所に、例年通りオブザーバ出席の案内文書を会長名にて送付した。
- ・国立情報学研究所学術基盤推進部は、協会事業と関連が深いので、例年通り出席を依頼したい。

(10) 第 59 回総会の当番館・日程等について

神戸大学・樋口館長から配付資料 (No.25) に基づき、平成 24 年度の総会及びマネジメント・セミナーについて、神戸大学附属図書館を当番館として、平成 24 年 6 月 21 日 (木) に神戸市内で総会及び懇親会を開催し、翌日にマネジメント・セミナーを実施する予定である旨説明があり、了承された。

(11) その他

東京大学・高橋情報管理課長から配付資料 (No.26) に基づき、「学術情報の利用に関する調査」への協力依頼に関して説明があった。また千葉大学・竹内館長から、調査手順について、各大学の負担が少なくなるような方法を検討中である旨、補足があった。

国立情報学研究所学術基盤推進部・鈴木学術コンテンツ課長から、当日配付資料に基づき、学術機関リポジトリに関する要望に対する回答について、説明があった。また、国立情報学研究所学術基盤推進部・青木次長から、計画停電による各種サービスの停止及びその後の状況について報告があった。

事務局から、4月に逝去した名古屋大学・川添情報システム課長の弔電を会長名で送ったことについて、報告があった。

6. その他

古田会長から、前回及び前々回の議事要録 (案) について、訂正等がないかどうかの確認があり、承認された。

また、事務局から、配付資料 (No.27) に基づき、協会等の今後のスケジュールについて説明があった。

7. 閉会

国立大学図書館協会
新理事会出席者

平成23年5月13日(金)

14:00~17:00

東京大学附属図書館大会議室

北海道大学	館長	新田孝彦
	事務部長	藏野由美子
	管理課長	杉田福夫

北見工業大学	情報図書課長	片桐和子
--------	--------	------

東北大学	館長	野家啓一
	事務部長	片山俊治
	情報サービス課長	小陳左和子

福島大学	館長	高橋隆行
	学術情報課長	高橋喜一

筑波大学	館長	波多野澄雄
	副館長	関川雅彦
	情報管理課長	上原正隆

千葉大学	館長	竹内比呂也
	情報部長	木内匡大
	学術情報課長	島文子

東京大学	館 長 事務部長 総務課長 情報管理課長 情報サービス課長 柏地区図書課長	古田元夫 田中成直 木村優 高橋努 北村照夫 風巻利夫
------	--	--

一橋大学	館 長 学術・図書部長	江夏由樹 貝田辰雄
------	----------------	--------------

名古屋大学	館 長 事務部長 情報管理課長	松浦好治 加藤信哉 高木昭
-------	-----------------------	---------------------

岐阜大学	館 長 学術国際部長 情報サービス課長	小見山章 木村晴茂 安田眞由美
------	---------------------------	-----------------------

京都大学	館 長 事務部長 総務課長 情報管理課長	林信夫 栃谷泰文 木下聡 大西直樹
------	-------------------------------	----------------------------

大阪大学	館 長 事務部長 図書館企画課長	小泉潤二 石井道悦 白木俊男
------	------------------------	----------------------

広島大学	館 長 副図書館長 図書学術情報企画グループリーダー	富永一登 甲斐重武 藤井明
------	----------------------------------	---------------------

高知大学	総合情報センター長	豊永昌彦
------	-----------	------

研究協力部長
学術情報課課長補佐

松村 仁
松浦 良典

九州大学

館長
事務部長
図書館企画課長

川本 芳昭
濱崎 修一
飯田 昇平

鹿児島大学

館長
学術情報部長
情報管理課長

井上 佳朗
長友 良維
松田 孝三

(監事館)

弘前大学

館長
学術情報部長
学術情報課長

長谷川 成一
膝舘 俊広
工藤 弘文

神戸大学

館長
事務部長
情報管理課長

樋口 保成
山田 周治
稲葉 洋子

(オブザーバ)

文部科学省研究振興局

情報課学術基盤整備室

室長補佐
大学図書館係主任

丸山 修一
首東 誠

国立情報学研究所

学術基盤推進部

次長
学術コンテンツ課長
図書館連携・協力室長

青木 利根男
鈴木 秀樹
尾城 孝一